

岐阜県立岐阜農林高等学校

学校長 渡邊 千洋

学校住所 本巣郡北方町北方150 電話 058-324-1145

1 会議の名称 平成30年度 岐阜農林高等学校 第2回学校評議員会

2 会議の構成 委 員 飯尾 正澄 北方町民生委員
今西 良共 国際園芸アカデミー学長
木野村ともみ 北方町教育委員
服部 里美 大垣共立銀行
村瀬 里佳 本巣市教育委員

(委員名は五十音順)

育友会 西尾さおり 会長

学校側 渡邊 千洋 校長
守屋 康晴 教頭
吉田 勇人 教頭
加藤 和宏 事務部長
大矢 英樹 教諭(教務主任)
久松 一郎 教諭(生徒指導主事)
川島 茂樹 教諭(進路指導主事)
辻 浩幸 教諭(農場長)

3 会議の目的 岐阜農林高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成31年 1月18日(金) 13:30~15:30
岐阜県立岐阜農林高等学校 会議室
委員5名、育友会長、学校側8名が出席

5 会議の概要

- ・生徒との意見交換会
- ・生徒保護者アンケート結果について
- ・学校自己評価の報告と今後の課題について
- ・意見交換

(1) テーマ : 生徒との意見交換会

本校7学科の代表生徒が、3年間で頑張ってきたことについて話した後、評議員から「楽しかったこと」や「親の自慢」などの質問をいただき、生徒の親を思う気持ちに対して共感・感動していただいた。

(2) テーマ : 生徒・保護者アンケート結果について

- 質問1 アンケート結果は、どのように公開しているのか。
回答 本校のホームページで公開している。
- 質問2 イエローカードの効果について、保護者の29%がわからないと答えているのはどうか。
回答 イエローカードの対象になる生徒は一部なので保護者にも伝わりにくい面があるが、当初より理解は進んでいる。
- 質問3 アンケートの調査対象はどの程度か。
回答 各クラス生徒・保護者とも5人ずつと学校評議員の皆様へ回答を依頼している。
- 質問4 一斉配信メールサービスの結果が良くなっているのはなぜか。
回答 今年度は特に、警報発表に伴うメール配信の機会が多くなり、効果が実感できたためと考えられる。

(3) テーマ : 学校自己評価の報告と今後の課題について

- 質問5 施設の改修計画はあるのか。
回答 来年度は会議室の木質化と本館外壁改修→再来年度は図書生物工学科棟外壁改修等、年度を追って計画はある。エアコンは、来年度夏休み前に全普通教室に設置される予定である。
- 意見1 エアコンは、普通教室以外にも設置する計画を立てて欲しい。
- 質問6 進路指導について、卒業生の追跡はどうしているのか。
回答 旧担任が、ある程度追跡・把握している。在校生の進路意識向上のため、「卒業生と語る会」も行っている。
- 意見2 警報発表時のメール配信が迅速に対応されており、保護者として助かった。今後も、できるだけ早い時間のメールによる情報発信をして欲しい。
- 質問7 学科により、進路に向けての取組が異なっているのではないかと。
回答 学校として、統一したラインはある。詳細の進め方は、学科や担任の個性等により若干異なることがある。
- 質問8 体罰については、把握しているのか。
回答 担任への聞き取りや生徒に対していじめの調査を実施し、確認している。何をもって体罰とするかを見極めながらよく目を配っていきたい。
- 意見3 最近は、スマートフォン等でいつでも動画撮影や録音ができるので、先生方も不適切な指導にならないよう充分気を付けて欲しい。
- 質問9 体育祭・学校祭についての印象はどうか。
回答 多くの生徒が成就感を味わい満足している。特に学校祭（岐農祭）は毎年開催が4年目となるが、特に今年は体育祭と連続してあり、職員は指導・支援が大変な面があった。

6 会議のまとめ

いただいた貴重なご意見を生かし、地域との連携をさらに深め、生徒の活動の場を広げて専門教育を充実させていきたい。生徒、教職員、保護者が一体となって活力ある学校づくりを推進し、生徒の進路実現を図っていきたい。